

被災者と取材者 －災害報道は誰のために－

HAB北陸朝日放送ドキュメンタリー「被災者と取材者」

第29回ものづくりネットワーク大賞 最優秀賞受賞で表彰式

HAB北陸朝日放送（本社：石川県金沢市）が去年5月に放送した「被災者と取材者－災害報道は誰のために－」が第29回ものづくりネットワーク大賞の最優秀賞を受賞しました。HABの最優秀賞は第27回以来2年ぶり5回目です。9月17日、テレビ朝日本社で表彰式が行われ、HABの能田剛志社長と報道制作局の吉中勇介ディレクターが出席しました。



第29回ものづくりネットワーク大賞表彰式（9月17日、テレビ朝日本社）

受賞番組

「被災者と取材者－災害報道は誰のために－」

放送日時

2025年5月25日（日）
午前10時15分～午前11時15分

スタッフ

ディレクター 吉中勇介／プロデューサー 黒崎正己／カメラ 金子良太郎／音声 浜崎功／編集 長谷川千佐子

番組内容

2024年、能登を襲った地震と豪雨。過熱する報道はときに被災者を追いつめていきました。誰のために、そして何のために。記者、カメラマンはその意味を問い続けています。被災者と取材者。それぞれの立場で、大きな災害と向き合った証言をひもとき、改めて報道機関の役割を考えました。



輪島支局
小田原寛カメラマン



被災者を取材する報道陣

ものづくりネットワーク大賞

若手制作者の育成と制作力向上を目指し東京・大阪・名古屋・北海道・福岡を除くテレビ朝日系列19社の作品を対象にアイデアや独自性、構成力などを審査し、優れた番組を表彰している。

吉中勇介ディレクターのコメント

素晴らしい賞を頂き光栄に思うと同時に、身が引き締まる思いです。被災地の方に信頼してもらえる存在であるよう、毎日のニュースに取り組んでいきたいと思っています。